

いのち

JA 岐阜厚生連
東濃中部医療センター
土岐市立総合病院

34

2026年1月発行

編集/土岐市立総合病院
編集協力/CK Nagoya
所在地/岐阜県土岐市土岐津町土岐口793番地の24
TEL/0572-55-2111(代表)
FAX/0572-54-8488
http://www.tokisou.gifkosei.or.jp/index.html

TOP NEWS

令和8年 年頭のご挨拶

岐阜県厚生農業協同組合連合会
経営管理委員会会長

古川 敏之

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は本会の事業運営につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。医療を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化の進展に伴う医療需要の変化、医師の働き方改革や就労人口の減少などにより依然とし

て厳しい状況が続いております。さらに、地域医療を担う医療機関では、人件費や物価高騰に伴う費用の増加や施設の老朽化など多くの課題に直面しております。こうした状況のなか、本会では将来にわたり持続可能で質の高い医療を提供するため、国や県が推進する地域医療構想の方針に沿って、県内4つの医療圏において病床再編や病院統合を進めてまいりました。本年2月には、東濃厚生病院と土岐市立総合病院を統合した新病院「公立東濃中部医療センター」が開院の運びとなりました。これもひとえに、関係各位のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。この新病院が東濃中部地域における新たな中核拠点として、地域の皆様の期待と信頼にお応えで

きるよう取り組んでまいります。今後も社会情勢が大きく変化していくことが予想されますが、本会は、医療従事者の確保・育成・定着化や医療DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進をさらに進め、より質の高い医療サービスの提供に努めてまいります。そして、JAグループ、行政、地域の医療機関・介護施設等との連携を一層強化し、地域の中核病院として「地域住民から信頼され、必要とされる病院づくり」に役職員一丸となって取り組んでまいります。結びに、本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますよう心よりご祈念申し上げますとともに、本会事業に対し、今後ともなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

病院の理念

地域の信頼に応えるために良質な医療を行います

わたしたちは、皆様の信頼に応えるため、安全で快適な療養環境と良質な医療を提供することを常に心掛けています。

基本方針

- ▶ 人間尊重の医療に努めます
- ▶ 常に研鑽し、質の高い医療をめざします
- ▶ 安全で満足できる医療を提供します
- ▶ 医療をとおして地域社会に貢献します

診療担当表

階	受付 フロア	診察室 番号	診察室名	月	火	水	木	金
1	A	1	内科共有1	AM PM	山内 辰也(血液内科)	安藤 操(代務医一般)	山内 辰也(血液内科)	池庭 誠(代務医)
		2	内科共有2	芦田 凉成(代務医内分泌)	西尾 克彦(膠原病)	山口 満(代務医一般)	西尾 克彦(膠原病)	西尾 克彦(膠原病)
		3	腎臓内科	村山 慎一郎	村山 慎一郎	三輪 真幹(代務医)	澤崎 貴子(代務医)	田中 翔一郎(代務医)
		4	内分泌内科	武田 理(代務医)	安藤 詩奈子(代務医)	三輪 大介	内藤 聡(代務医)	北村 枢騎(代務医)
	B	1	呼吸器内科	AM PM	飯島 淳司	近藤 友喜(代務医)	笠原 嵩翔	柴田 尚宏
		2	初診	担当医	担当医	担当医	担当医	伊藤 亮太(代務医循環器)
		3	初診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
		4	循環器内科	岡本 遼太郎(代務医循環器)	鈴木 瞳(代務医循環器)	塚本 英人	水谷 弘司(代務医循環器)	塚本 英人
		5	消化器内科	長屋 寿彦	長屋 寿彦	横山 敬史 135週 小柳 裕輝 24週	横山 敬史	宮地 達郎
		6	内科共有3	太田 翔(代務医呼吸器)	宮地 達郎 2.4週(消化器)	芦田 凉成(代務医内分泌)	後藤 希(代務医呼吸器)	小柳 裕輝(消化器)
		7	一般内科	田中 幸明		太田 知英(一般内科)	吉田 正樹(代務医)	新見 隆夫
	C	1	整形1	佐伯 総太(代務医手の外科)	佐藤 央	加藤 健太郎	大間知 孝顕	青木 拓巳
		2	整形2	青木 拓巳	大間知 孝顕	大間知 孝顕	佐藤 央	宮川 昂己
		3	整形3	宮川 昂己	加藤 健太郎	宮川 昂己	青木 拓巳	加藤 健太郎
		4	整形4	AM PM	平石 孝(代務医)	村瀬 史典	代務医	石塚 なお子
	D	1	神経内科		加藤 秀司	加藤 秀司	加藤 秀司	加藤 秀司
		2	脳神経外科1	大村 一史	北島 英臣	清水 陽平	水谷 大佑	北島 英臣
		3	脳神経外科2					
		4	形成外科					山内 真紀子(第1週 代務医)
		7	外科	AM PM	山家 豊	砂川 祐輝	大谷 聡	山家 豊
							福井 高幸(1・3週)/沼波 宏樹(2・4週) (代務医呼吸器外科)	砂川 祐輝
	E	8	外科	木之下 幸夫	木之下 幸夫	岡崎 泰士	砂川 祐輝	木之下 幸夫
		9	外科共有	麻酔科外来	麻酔科外来	麻酔科外来	ストーマ外来	ストーマ外来
		1	血管外科 乳腺外科	AM PM	岡崎 泰士(血管外科) 石橋 宏之 15:00~16:00 (代務医血管外科)	山本 希登仁(血管外科)	安藤 修久	小野田 幸治(心臓血管外科) 宮嶋 則行 13:40~ (代務医乳腺外科)
	F	2	泌尿器科1	濱本 幸浩	濱本 幸浩			
		3	泌尿器科2			多田 晃司(代務医)	渡邊 将人 9:30~11:30	渡邊 将人 9:30~11:30
		1	小児科1	AM PM	門脇 朋範 予防接種	元吉 史昭	門脇 朋範	元吉 史昭
2	H	2	小児科2		門脇 朋範	元吉 史昭	元吉 史昭(1・3週)	門脇 朋範(1・3週)
		3	小児科3	AM PM	岡本 博之(代務医 予約制) 岡本 博之(代務医 予約制)	中野 正大(代務医 予約制) 中野 正大(代務医 予約制)	中野 正大(代務医 予約制)	馬場 礼三(2週)(代務医) 岡本 博之(1・3週) (代務医 予約制)
			眼科1		寛 清香	笹本 明生	寛 清香	寛 清香
			眼科2		笹本 明生(代務医) (第2・3・4・5週)	成相 由依(代務医)	谷村 香奈(代務医)	内田 英佑(代務医)
			眼科3		白木 玲子	白木 玲子	白木 玲子	白木 玲子
		1	耳鼻咽喉科1	菅 太一(代務医)	菅 太一(代務医)	未定	岸本 真由子(代務医)	中村 宏賢(代務医)
		3	耳鼻咽喉科2	岩下 利恵(代務医)	車 哲成(代務医)	代務医(第4週のみ)	竹内 拓馬(代務医)	楊 鈞雅(代務医)
		5	皮膚科1	稲垣 克彦	稲垣 克彦	稲垣 克彦	稲垣 克彦	宮崎 朗(代務医)
		6	皮膚科2				秋山 真志 9:00~11:00 (代務医)	
	J	7	歯科口腔外科1	横井 彰(歯科)	横井 彰(歯科)	横井 彰(歯科)	横井 彰(歯科)	横井 彰(歯科)
		8	歯科口腔外科2	萩原 純孝(歯科口腔外科)	萩原 純孝(歯科口腔外科)	萩原 純孝(歯科口腔外科)	萩原 純孝(歯科口腔外科)	萩原 純孝(歯科口腔外科)
		9	歯科口腔外科3					
	K	1	精神科1	加藤 美樹[初診完全予約制]	加藤 美樹	加藤 美樹	加藤 美樹	鈴木 幹央(代務医)
		2	精神科2		鈴木 幹央(代務医)		野瀬 早織(代務医)	関 正樹 [代務医特殊完全予約制]
		3	精神科3					
5	K	1	婦人科	青山 航也	中川 敦史	青山 航也	中川 敦史	藤戸 聖(代務医)
		2	産科	中川 敦史	青山 航也	中川 敦史	青山 航也	中川 敦史

※令和7年12月時点の暫定ため変更となる場合があります。

お問い合わせは2月3日(火)以降でお願い致します。

※診察呼出しはすべて番号表示となります。

JA 岐阜厚生連

公立東濃中部医療センター
Tono Chubu Medical Center

TEL:0572-55-2111(代)※但し、1月中は旧病院へ繋がります。

公立東濃中部医療センター開院

新病院の全体像

あけましておめでとうございます。地域の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、皆様ご承知おきのこととは存じますが、当院は東濃厚生病院と統合し2月に「公立東濃中部医療センター」として開院致します。地域の中核病院として、救急・急性期治療から回復期、在宅支援に至るまで切れ目のない医療を提供し、患者さまの早期回復と在宅復帰を支援、地域完結型医療の実現をめざしてまいります。

高度医療・設備の強化

病床は400床で、急性期296床、地域包括ケア病棟40床、回復期リハビリテーション病棟44床、緩和ケア病棟20床となります。救急医療では、高度な救急医療体制を整備し、迅速な対応を可能にします。最新の救急医療機器や診断装置を導入し、患者の状態を正確に把握します。また、土岐市立総合病院から引き継ぐ脳卒中センターにおいては、脳卒中の専門知識を持つ医師による早期診断・治療に尽力致します。

新病院で新規導入予定の代表的なものとして次の医療機器があります。

- ・手術支援ロボット「ダヴィンチ」
- ・がん温熱療法「ハイパーサーミア」
- ・放射線治療機「ヴァリアン」
- ・高度画像診断「PET-CT」
- ・リハビリ支援ロボット「ウエルウォーク」(令和6年12月導入済)

▲ウエルウォーク

これらの設備により、がん診療、低侵襲手術、精密診断、早期回復に向けたリハビリの実施等、幅広く対応が可能となります。

屋上には緊急搬送に対応するヘリポートを設置し、迅速な救急対応を実現するとともに、災害時にも備えています。回復期では、脳疾患や整形外科疾患を中心に、患者さんの早期回復を促進するための回復期リハビリテーション病棟を設置し、リハビリテーションに特化したリハビリ設備や専門スタッフを配置、退院に向けた支援も行います。新病院では、土岐市・瑞浪市で出産できる医療機関がなかった産科を開始します。これに先駆けて、当院では12月から妊婦健診を開始しました。もちろん、里帰り出産の受入れも可能となります。また、出産後のお母さんたちのケア行う「産後ケア」も市町村と連携し、継続して行っていきます。

地域医療への想い

私たちは、地域に根ざした中核病院として患者さんに寄り添い、安全で質の高い医療を提供し、地域の皆さまから信頼される医療機関となれるよう、職員一同尽力して参ります。「公立東濃中部医療センター」の情報は、ホームページにて順次更新していきます。

新病院開院に伴い、現病院の診療は1月29日までとなります。ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解・ご協力をお願い致します。なお新病院は、2月3日(火)からの診療となります。



▲ヘリポート

病院長より「年頭のご挨拶」



病院長 安藤 修久

新新春あけましておめでとうございます。

皆様すこやかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年2月1日、いよいよ新病院「公立東濃中部医療センター」が開院の運びとなりました。厳しい医療情勢の中、東濃中部地域の将来を見据えた医療資源の集約化を目指し、構想より10年以上の歳月を擁してきたプロジェクトはようやく完成に至ります。この間ご尽力、ご協力いただきました関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

新病院は、開院に合わせて新設された陶元浅野線道路にて市内中心部から直結し、御嶽山や中央アルプスの山並みが望める浅野地区の高台の約9.5haの敷地に、地上7階建ての病院棟など延べ約3万8千平方メートルの施設を建設、36診療科を設けベッド数は400床を用意いたします。救急医療拠点として、年間最大5千件の救急患者の受け入れに対応します。手術室を拡充し、がん患者や救急患者の受け入れ増加に対応できる手術室(7室)を用意、手術支援ロボット対応室も複数設備します。地域がん診療連携拠点病院としての機能強化を図り、放射線治療棟を設置し、化学療法室や、緩和ケア病棟を設備します。コロナ禍の経験から感染対策にも重点を置き、他部門と完全に独立した感染外来を整備し、感染症病棟と診察圏エリアを直結する感染用エレベーターを設置します。また、近年全国各地で頻発する地震や水害などの発生を念頭に、おいた災害医療への取り組みも大きなテーマに掲げています。病院棟は東日本大震災クラスの揺れに耐えられる免震構造を採用し、屋上には患者搬送用のヘリポートを設置します。非常用電源、燃料、非常用水、食糧、薬品等を3日分以上備蓄し、単独稼働を可能にします。災害発生時には医療拠点として多くの傷病者を受け入れるとともに、状況によっては院内の多目的ホールや会議室を利用して近隣の避難住民を受け入れ、避難拠点としての役割も担います。また災害派遣医療チームを結成し、局地災害に対し医療チームの派遣を行う予定です。

このように新病院は単なる医療施設に留まらず、東濃中部地域の住民の皆様が将来にわたって安心してこの土地に暮らしていくための心の拠り所であり、皆さんの安全と生命を守るシンボルでありたいと考えています。そして、この新病院開院と共に、土岐市立総合病院はその役割を終え開院いたします。昭和63年の開院以来、40年近くに渡って地域住民の皆様の健康を守る役割を担い、地道な努力を続けていりました。新病院のスタートラインの礎は、当院が長年積み重ねてきた信頼と実績の上にこそ成り立っております。ここに改めて、当院の運営に携わっていただきました歴代の先輩職員の皆様、並びにご協力いただいていた市民の皆様に感謝申し上げます。

末筆となりましたが、謹んで新しい年の皆様の一層の御多幸と御健勝をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。